

# EEM360 医療特論 I

3年 3,4クォーター

担当教員 山次 俊介, 大木 央, 杉田 大輔

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 要素を含む

単位数 2

曜日・時限 火曜日・3限目または4限目

## 授業概要

我々の健康を取り巻く社会状況から、健康の維持・増進に関する科学的な知識を理解する。また、運動・スポーツ医学的な視点から、整形外科学、リハビリテーション学、運動生理学、解剖学などの理解を深める。特に、生活習慣病の一次予防に主眼をおいて、積極的な健康の獲得方法に関する正しい知識を習得する。また、我が国の健康課題を理解し、国民の健康寿命の延伸、およびQOLの向上への有効な対策に思考を進めることを目標とする。

## 到達目標

- 学生は、
- (1) 健康、障害と疾病の概念について学ぶ。
  - (2) エビデンスに基づいた健康情報の吟味する重要性を理解する。
  - (3) われわれの健康をとりまく社会的背景を認識し、一次予防の重要性を学ぶ。
  - (4) 生活習慣病を正しく理解し、健康な生活習慣を正しく意識する。

## 先修科目

なし

## 教科書・参考資料等

杏林書院「健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修

## 授業の方法

印刷教材・視聴覚教材などを用いながら講義を進め、毎授業終了時に確認課題と派生した疑問について取り組み、次週の授業時に回答する。各単元のそれぞれの問題について考察レポートを作成する。また、予習、復習しやすいように單元ごとに修得すべきポイントをまとめ、確認する。

## 成績評価

定期試験の実施と、各單元において提出するレポート、修学態度から評価する。

再試験は、定期試験の点数が50点以上60点未満でレポート評価点、修学態度が良好な場合において、1回のみ実施する。

## 成績

定期試験80%、レポート10%、修学態度10% 計100%

## 授業スケジュール

第1回：(杉田大輔)

健康科学の基礎医学、特に、運動療法について理解する。

第2回：(大木 央)

健康科学の基礎医学、特に、運動と骨・関節・骨格筋・脊髄について理解する。

第3回：(山次俊介)

健康科学概論、特に、健康情報リテラシーの重要性について理解する。

第4回：(山次俊介)

健康科学概論、特に、健康科学エビデンスの作り方と吟味、利益相反について理解する。

第5回：(山次俊介)

健康科学概論、特に、リスクの見積もり方について理解する。

**第6回：**（山次俊介）

健康科学概論，特に，メディアバイアスについて理解する。

**第7回：**（山次俊介）

我が国の健康問題，特に，我が国の健康問題の背景について理解する。

**第8回：**（山次俊介）

我が国の健康問題，特に，超高齢社会と少子化について理解する。

**第9回：**（山次俊介）

我が国の健康問題，特に，健康とQOLについて理解する。

**第10回：**（山次俊介）

我が国の健康問題，特に，我が国のヘルスプロモーションとその成果について理解する。

**第11回：**（山次俊介）

健康のための運動処方論，特に，運動のリスクについて理解する。

**第12回：**（山次俊介）

健康のための運動処方論，特に，運動のリスク層化と推奨される運動強度について理解する。

**第13回：**（山次俊介）

健康のための運動処方論，特に，運動・身体活動指針の変遷について理解する。

**第14回：**（山次俊介）

肥満，特に，発展途上国にも広がる肥満について理解する。

**第15回：**（山次俊介）

肥満，特に，肥満の現状 ～アメリカと日本の比較～ について理解する。

**第16回：**（山次俊介）

試験

**事前・事後学習**

---

予習：シラバスの授業内容を参考に、該当する教科書の章を予習しておくこと。

復習：授業時に配布した資料内容と教科書の重要事項の整理に1時間程度。